

外科プログラム

救急科プログラム
(カリキュラム制)

集中治療科プログラム
(カリキュラム制)

前立ち研修

集中治療科プログラム
(カリキュラム制)

Acute Care Surgeryプログラム			
学年	修練病院	目的	取得目的一専門医
3年目	東京科学大学	・ 本院で都市型ERでの Acute Care Surgeonとしての働きと役割を学ぶ	外科専門医 消化器外科専門医 Acute Care Surgery認定外科医 外傷専門医
4年目	外科研修病院	・ 外科研修先で消化器外科を中心とした定型手術と外科基本手技を学ぶ 外科専門医	外科専門医 消化器外科専門医 Acute Care Surgery認定外科医
5年目			
6年目			
7年目	東京科学大学 東京女子医大足立医療センター 松戸市立総合医療センター 土浦協同病院 その他関連救命救急センター	・ 救急科プログラム(カリキュラム制)に乗って、各施設で外傷リーダーになる研修を開始 ・ 執刀医として手術を経験 消化器外科専門医	消化器外科専門医 Acute Care Surgery認定外科医 救急科専門医 外傷専門医
8年目	東京科学大学 東京女子医大足立医療センター 松戸市立総合医療センター 土浦協同病院 その他関連救命救急センター	・ 救命救急センターで外傷リーダーや外傷手術の修練をする ・ 執刀医として手術を経験	消化器外科専門医 Acute Care Surgery認定外科医 救急科専門医 外傷専門医
9年目	藤沢市民病院 土浦協同病院 その他前立ち研修病院	・ 手術全般の指導的前立ちのトレーニングを開始する 救急科専門医	Acute Care Surgery認定外科医 外傷専門医
10年目	藤沢市民病院 土浦協同病院 その他前立ち研修病院	・ 高難度手術の指導的前立ちのトレーニングを開始する ACS認定外科医 外傷専門医	Acute Care Surgery認定外科医 外傷専門医
11年目	大学、各施設 海外外傷外科研修(韓国、タイ、フィリピン)	・ 救命救急センターで外傷リーダーや外傷手術の指導を開始 ・ 集中治療専門医研修開始 ・ 外傷に特化した短期専門研修	集中治療科専門医 指導医取得へ向けて開始
12年目	大学、各施設 海外外傷外科研修(韓国、タイ、フィリピン)	・ 救命救急センターで外傷リーダーや外傷手術の指導 ・ 指導的前立ち ・ 外傷に特化した短期専門研修	集中治療科専門医 指導医
13年目	大学、各施設	・ 救命救急センターで外傷リーダーや外傷手術の指導 ・ 指導的前立ち 集中治療科専門医	指導医

救急集中治療プログラム				
学年	修練病院	目的	取得目的一専門医	
救急科プログラム	3年目	東京科学大学	・ 本院で都市型ERでの救急医としての働きと役割を学ぶ	救急科専門医 外傷専門医
	4年目	東京科学大学 東京女子医大足立医療センター	・ 救命センターで救急科専門医となるための修練を行う	救急科専門医 外傷専門医
	5年目	松戸市立総合医療センター 土浦協同病院 その他関連救命救急センター		
集中治療科プログラム (カリキュラム制)	7年目	東京科学大学 集中治療研修病院 亀田総合病院など	・ 集中治療科専門医プログラム開始	集中治療科専門医 外傷専門医
	8年目		・ 集中治療科修練	集中治療科専門医 外傷専門医
	9年目	大学、各施設	・ 救命救急センターで診療リーダーとして働く ・ 後輩の指導を行う。	指導医取得へ向けて
	10年目	大学、各施設	・ 救命救急センターで診療リーダーとして働く ・ 後輩の指導を行う。	指導医取得へ向けて

救急科専門医

集中治療科専門医

外傷専門医

救急IVRプログラム				
学年	修練病院	目的	取得目的一専門医	
救急科プログラム	3年目	東京科学大学 救命救急センター	・ 本院で都市型ERでの救急医としての働きと役割を学ぶ	救急科専門医 外傷専門医
	4年目	東京科学大学 東京女子医大足立医療センター	・ 各施設にてそれぞれの救命救急センターの特色を学ぶ ・ 救急IVRをできる施設での修練	救急科専門医 外傷専門医
	5年目	松戸市立総合医療センター 土浦協同病院 その他関連救命救急センター		
(5年+IVR研修)	6年目	放射線科専門医研修開始 東京科学大学病院放射線科領域専門研修プログラム連携病院	救急科専門医	放射線科専門医 放射線診断専門医 放射線カテーテル治療専門医
	7年目		・ IVRの研修をしつつ、放射線科の研修を行う。 ・ 放射線科専門医を取得する	
	8年目			
	9年目	放射線科診断研修開始 プログラム病院 (IVR修練施設：同上)	放射線科専門医	放射線診断専門医 放射線カテーテル治療専門医
(2年のプログラム制)	10年目		・ IVRの研修をしつつ、放射線診断の研修を行う。 ・ 放射線診断専門医を取得する	
	11年目	大学、各施設 (ICU研修可能病院) IVR実施可能病院	放射線診断専門医	放射線カテーテル治療専門医 集中治療専門医 外傷専門医
			・ IVR専門医を取得する ・ 救命救急センターで外傷リーダーや外傷IVRの修練をする。 ・ 救命救急センターでIVRサブスペ志望の子の指導。 ・ 集中治療専門医プログラム開始	
	12年目		放射線カテーテル治療専門医	
		大学、各施設 (ICU研修可能病院) IVR実施可能病院	・ 救命救急センターで外傷リーダーや外傷IVRの修練をする。 ・ 救命救急センターでIVRサブスペ志望の子の指導。	集中治療専門医 外傷専門医
	13年目		・ 救命救急センターで外傷リーダーや外傷IVRの指導を行う。	指導医取得へ向けて開始
		集中治療科専門医	外傷専門医	

救急麻酔科プログラム				
学年		修練病院	目的	取得目的一専門医
救急科プログラム 麻酔科プログラム	3年目	東京科学大学	・ 本院で都市型ERでの救急医としての働きと役割を学ぶ	救急科専門医 外傷専門医
	4年目	東京科学大学病院麻酔専門医研修プログラム 松戸市立医療センター 土浦協同病院 済生会横浜東部病院 日本赤十字社医療センター 女子医科大学足立医療センター	・ 麻酔科研修を行い定時手術の麻酔をかけられるようになる。	麻酔科標榜医 麻酔科認定医 麻酔科専門医
	5年目	東京科学大学病院麻酔専門医研修プログラム 松戸市立医療センター 土浦協同病院 済生会横浜東部病院 日本赤十字社医療センター 女子医科大学足立医療センター	・ 麻酔科研修を行い心臓血管外科の麻酔をかけられるようになる。	麻酔科標榜医 麻酔科認定医 麻酔科専門医
	6年目	東京科学大学病院麻酔専門医研修プログラム 松戸市立医療センター 土浦協同病院	・ 麻酔科研修を行い緊急手術、外傷手術の麻酔をかけられるようになる	麻酔科専門医
	7年目	済生会横浜東部病院 日本赤十字社医療センター 女子医科大学足立医療センター		
	8年目	大学、各施設(ICU研修可能病院)	・ 救命救急センターで外傷リーダーや外傷麻酔の修練をする。 ・ 救命救急センターで麻酔科サブスペ志望の子の指導。 ・ 集中治療専門医プログラム開始	集中治療専門医 外傷専門医
集中治療科プログラム (カリキュラム制)	9年目	大学、各施設(ICU研修可能病院)	・ 救命救急センターで外傷リーダーや外傷麻酔の修練をする。 ・ 救命救急センターで麻酔科サブスペ志望の子の指導。 ・ 集中治療修練	集中治療専門医 外傷専門医
	10年目	大学、各施設(救命救急センター)	・ 救命救急センターで外傷リーダーや外傷麻酔の指導を行う。	麻酔指導医

救急科プログラム

整形外科プログラム

救急科プログラム

集中治療科プログラム
(カリキュラム制)

救急麻酔科プログラム 育成システム				
学年	修練病院	目的	取得目的一専門医	
3年目	東京科学大学 救命救急センター	・ 本院で都市型ERでの救急医としての働きと役割を学ぶ	救急科専門医 外傷専門医	
4年目	整形外科研修プログラム開始 各プログラム病院	・ 整形外科研修を行い基本的な手術の執刀・術後管理含めた外来をできるようになる。	整形外科専門医	
5年目	整形外科研修プログラム開始 各プログラム病院	・ 整形外科研修を行い基本的な手術の執刀・術後管理含めた外来をできるようになる。	整形外科専門医	
6年目	整形外科研修プログラム開始 各プログラム病院	・ 整形外科研修を行い緊急手術の対応ができるようになる。	整形外科専門医	
7年目	整形外科研修プログラム開始 各プログラム病院	・ 救命救急センターで外傷リーダーや骨折を含む多発外傷の手術計画を立てる。 ・ 救命救急センターで整形外科サブスペ志望の子の指導。 ・ 集中治療専門医プログラム開始	救急科専門医 集中治療専門医 外傷専門医	
8年目	大学、各施設(ICU研修可能病院)	・ 救命救急センターで外傷リーダー多発外傷に対する適切な対応ができる。 ・ 救命救急センターで整形外科サブスペ志望の子の指導。 ・ 集中治療修練	救急科専門医 集中治療専門医 外傷専門医	
9年目	大学、各施設(ICU研修可能病院)	・ 救命救急センターで外傷リーダーや外傷整形手術の指導を行う。	指導医取得へ向けて開始	
10年目	大学、各施設(ICU研修可能病院)	・ 救命救急センターで外傷リーダー多発外傷に対する適切な対応ができる。 ・ 救命救急センターで整形外科サブスペ志望の子の指導。 ・ 集中治療修練	集中治療専門医 外傷専門医	
11年目	大学、各施設(ICU研修可能病院)	・ 救命救急センターで外傷リーダーや外傷整形手術の指導を行う。	指導医取得へ向けて開始	
12年目	大学、各施設(救命救急センター)	・ 救命救急センターで外傷リーダーや外傷整形手術の指導を行う。	指導医取得へ向けて開始	

内科系救急プログラム				
学年	修練病院	目的	取得目的一専門医	
3年目	東京科学大学 救命救急センター	・ 本院で都市型ERでの救急医としての働きと役割を学ぶ	救急科専門医 外傷専門医	
4年目	東京科学大学 東京女子医大足立医療センター 松戸市立総合医療センター	・ 各施設にてそれぞれの救命救急センターの特色を学ぶ	救急科専門医 外傷専門医	
5年目	土浦協同病院 その他関連救命救急センター			
6年目	内科研修プログラム開始 各プログラム病院	・ 内科研修を行い、内科専門医を取得するための症例を集める。 J-OSLER 120例	内科専門医 呼吸器専門医	
7年目	内科研修プログラム継続 各プログラム病院 呼吸器内科研修 基幹施設	・ 内科研修を行い、内科専門医を取得するための症例を集める。 J-OSLER 120例 J-OSLE-呼吸器	内科専門医 呼吸器専門医	
8年目	呼吸器内科研修 関連施設	J-OSLE-呼吸器	内科専門医 呼吸器専門医	
9年目	大学、各施設	・ 救命救急センターで外傷リーダーの修練をする。 ・ 集中治療科専門医プログラム開始	集中治療専門医 外傷専門医	
10年目	大学、各施設	・ 救命救急センターで外傷リーダーの修練をする。 ・ 集中治療科修練	集中治療専門医 外傷専門医	
11年目	大学、各施設	・ 救命救急センターで外傷リーダーの指導を行う。	指導医取得へ向けて開始	

呼吸器科プログラム

救急科プログラム

内科プログラム
(カリキュラム制)

集中治療科プログラム
(カリキュラム制)

救急科専門医

内科専門医

呼吸器専門医

外傷専門医

集中治療科専門医

救急科プログラム

内科プログラム
(カリキュラム制)

集中治療科プログラム
(カリキュラム制)

消化器科プログラム

消化器科内視鏡プログラム

内科系救急プログラム			
学年	修練病院	目的	取得目的一専門医
3年目	東京科学大学 救命救急センター	・ 本院で都市型ERでの救急医としての働きと役割を学ぶ	救急科専門医 外傷専門医
4年目	東京科学大学 東京女子医大足立医療センター 松戸市立総合医療センター	・ 各施設にてそれぞれの救命救急センターの特色を学ぶ	救急科専門医 外傷専門医
5年目	土浦協同病院 その他関連救命救急センター		
6年目	内科研修プログラム開始 各プログラム病院 消化器内視鏡プログラムに登録	・ 内科研修を行い、内科専門医を取得するための症例を集める。 J-OSLER 120例 消化器内視鏡症例を集める	内科専門医 消化器病専門医 消化器内視鏡専門医
7年目	内科研修プログラム継続 各プログラム病院 消化器内科研修 基幹施設 消化器内視鏡研修 認定施設	・ 内科研修を行い、内科専門医を取得するための症例を集める。 J-OSLER 120例 J-OSLE-消化器 消化器内視鏡症例を集める	内科専門医 消化器病専門医 消化器内視鏡専門医
8年目	消化器内科研修 関連施設 消化器内視鏡研修 認定施設	・ 消化器内科研修を行い症例を集める。 J-OSLER 120例 J-OSLE-消化器 消化器内視鏡症例を集める	消化器病専門医 消化器内視鏡専門医
9年目			
10年目	大学、各施設(ICU研修可能病院)	・ 救命救急センターで外傷リーダーの修練をする。 ・ 集中治療科修練開始	集中治療専門医 外傷専門医
11年目	大学、各施設(ICU研修可能病院)	・ 救命救急センターで外傷リーダーの修練をする。 ・ 集中治療科修練	集中治療専門医 外傷専門医
12年目	大学、各施設(救命救急センター)	・ 救命救急センターで外傷リーダーの指導を行う。	指導医取得へ向けて開始

救急科専門医

内科専門医

消化器内視鏡専門医

消化器病専門医

集中治療科専門医

外傷専門医

救急科プログラム

健康危機管理プログラム

厚生労働省医系技官
(希望制)

災害医療（健康危機管理・公衆衛生・行政機関）プログラム				
学年	修練病院	目的	取得目的一専門医	備考
3年目	東京科学大学 救命救急センター	・ 本院で都市型ERでの救急医としての働きと役割を学ぶ	救急科専門医	
4年目	関連病院(災害医療センターなど)	・ 各施設にてそれぞれの救命救急センターの特色を学ぶ	救急科専門医 (社会医学専門医)	・ 5年目が東京科学大学での勤務となれば 1年前倒しでの社会医学専門医プログラムの履修開始が可能
5年目				
6年目	健康危機管理プログラム開始 国立健康危機管理研究機構 (JIHS)	・ 健康危機管理や公衆衛生の基礎を学ぶ ・ 統計学や疫学的思考方法を習得する ・ 災害医療の基本的対応を学ぶ	社会医学系専門医 医学博士 (PhD) 日本DMAT隊員資格 (特別枠) 統括DMAT隊員資格 (特別枠) DMATコーディネーター Infectious Control Doctor(ICD)	・ 週1日程度、大学の救命救急センター等で勤務継続することが可能 ・ 東京科学大学の社会人大学院 (PhD課程)と併行することが可能。 ・ 研究題材と指導はJIHSにて提供可能。
7年目	国立健康危機管理研究機構 (JIHS)	・ 行政機関との連携方法を学ぶ ・ 災害医療分野において教育指導できるようになる ・ 災害医学分野における研究を実施する	社会医学系専門医 医学博士 (PhD) 日本DMAT隊員資格 (特別枠) 統括DMAT隊員資格 (特別枠) DMATコーディネーター Infectious Control Doctor(ICD)	・ 他大学の公衆衛生大学院と連携してPhDの取得を行うことも可能。
8年目	国立健康危機管理研究機構 (JIHS)	・ 災害以外の健康危機管理事案への対処方法の基本を習得する (国立感染症研究所プログラムとの連携)	社会医学系専門医 医学博士 (PhD) 日本DMAT隊員資格 (特別枠) 統括DMAT隊員資格 (特別枠) DMATコーディネーター Infectious Control Doctor(ICD)	
10年目	厚生労働省 (課長補佐級)	・ 日本の政策設計に主体的に携わる ・ 国会对応等の業務を実際に行う ・ 政府予算の仕組みや法令上の整理について学ぶ	医学博士 (PhD) 日本公衆衛生学会認定専門家 災害医療上級ロジスティクス専門家	・ 厚生労働省本省への医系技官としての人事交流については、前任者との交代のタイミングがあることから、事前に調整が必要
11年目	厚生労働省 (課長補佐級)	・ 日本の健康危機管理体制の向上に資するような政策の立案や予算獲得の業務を実際に行う		
12年目	大学、各施設(救命救急センター) 国立健康危機管理研究機構 (JIHS) 行政機関	・ 救命救急センターで外傷リーダーや後輩の指導を行う	指導医取得へ向けて修練開始	